

令和4年度 岡谷市地域公共交通計画策定支援(調査)業務 仕様書(案)

1. 業務の背景と目的

岡谷市では、平成22年度に作成した「岡谷市地域公共交通総合連携計画(平成23年度～平成25年度)」に基づき、路線バスを中心とした公共交通網の見直しを図り維持確保を行ってきた。しかし、高齢者の免許保有率の上昇や少子高齢化・人口減少等の影響により、当市における公共交通利用者は減少傾向にあり、持続可能な公共交通の構築のために、福祉タクシーを含めた公共交通全体の最適化が求められている。

本市は、可住地にほとんどの市民が生活し、いわゆる郊外がほとんど存在せずコンパクトな市街地を形成しているがゆえ、交通空白地の解消のため、前掲計画に基づき市内隅々までバス路線を設定して運行している。このほか、80歳以上等を対象とする福祉タクシーを運行しており、地域の足の確保の充実を図ってきたところである。しかしながら、上記の社会情勢から、バスについては乗客数の減少による運賃収入の減と、車両更新経費も相まって市の財政負担が大きな課題となっている。現在のバス路線は、地域住民の生活の足となっていることから、大幅な路線見直しは困難と考えられるが、民間路線バスや3市町で共同運行するスワンバス、民間タクシーや福祉タクシーなども含め、「地域住民の足の効率的な確保」という観点から総合的に本市のコミュニティバスであるシルキーバス路線を再構築する時期が到来しているため、令和4年度では既存バス路線の利用実態や各地域の人流データを詳細に把握・情報の整理を行う。なお、令和5年度では本市の地域公共交通の最適化をねらいとした地域公共交通計画を策定し、令和6年度から計画の実行を目指す予定である。

2. 業務の対象地域及び対象路線

(1)対象地域

岡谷市全域

(2)OD 調査対象路線

岡谷市内を運行するシルキーバス路線

3. 業務の内容

(1)全般事項

調査、分析、検討等の結果は、図表を用いて分かりやすく整理すること。

(2)データの集計・分析

下表に掲げた項目を基本とし、具体的な調査の実施方法などについては発注者と協議のうえ決定する。

■データの種類・内容と活用イメージ

項目		把握事項	分析・検討内容
地域概況	地域の経済社会条件や自然条件、交通状況	地勢・自然、生活圏、人口・世帯数、公共交通の潜在需要、土地利用・施設分布、道路・交通等	
公共交通機関の実態把握	JR東日本、アルピコ交通(株)岡谷茅野線、シルキーバス、スワンバス、福祉タクシー「ふくしー」等	公共交通の種類、運行状況、利用状況、利用環境、経営状況、住民・利用者等の意向等	
上位計画・関連計画の整理	岡谷市地域公共交通総合連携計画 第5次岡谷市総合計画 岡谷市都市計画マスタープラン 岡谷市立地適正化計画 ほか		
バス路線のOD調査	対象路線の停留所間利用者数を調査 対象路線の利用者に移動の目的や公共交通の需要に関するアンケートを実施 運行事業者からヒアリング		
	乗降調査	各路線の停留所間の移動実態を調査	各路線の区間ごとの乗車率の粗密から、再編・見直しの方向性を検討
	アンケート調査	バス利用や普段の移動の実態、公共交通に関する需要、公共交通を利用しない理由等を調査	各路線の利用目的と運行ルート・ダイヤ等に不整合がないか検討
移動交通量の調査	岡谷市民の総合的な人流の実態(市町村内移動、岡谷市外への移動)を整理する。		
	岡谷市全域の人流データ	鉄道・自家用車等を含めた総合的な人流実態データを取得	移動ニーズに対し、各交通モードが適切に機能しているか
路線評価一覧表の作成	上記、調査の結果及び事業者資料等から、対象路線を一定の基準・指標で評価した一覧表を作成		
クロスセクタ分析	シルキーバスへの支出に伴う経済効果を算出		
その他	広域路線の利用状況の分析、先端技術活用による運行効率化例		

■データの収集時期

収集時期	データ種類
発注者と協議の上決定	バス路線のOD調査
	移動交通量の分析

(3) 課題の抽出及び改善方策の検討

(2)の分析結果を受けて、路線評価分析資料を作成し、早急に改善が必要な路線の選定及び改善策を提案する。

(4) 調査報告書の作成

(2)、(3)の内容について、全体を総括した報告書を作成する。

(5) 会議への対応

(4)で作成した調査報告書を用いて行われる会議に必要なに応じて出席し、資料説明や質疑等への対応をするとともに、出席者の求めに応じて追加資料などの提示を行う。

また、会議を経る中で修正が必要となった場合は修正を行い、3月末までに最終版の成果品を提出する。

4. 成果品

- | | |
|-----------|---|
| ①調査報告書 | 印刷製本5部(A4版縦・必要に応じてA3版の折込み・両面刷り・必要なページのみカラー印刷)、
電子データ(ワード、エクセル、パワーポイントとする。) |
| ②収集したデータ類 | 電子データ(ワード、エクセル、パワーポイントとする。) |

5. 業務実施スケジュール

業務実施スケジュールは概ね下表を目安とする。11月末までに暫定版の路線評価分析資料を作成し、その後会議等への対応の中で必要があれば修正等を行い、3月末までに最終版の成果品を提出する。

	8月	9月	10月	11月	12月
(1)データの収集・分析					
(2)指標に基づいた評価結果一覧表の作成					
(3)調査報告書の作成					
(4)会議への対応	7月～3月				

6. 契約期間

契約締結日から令和5年3月31日まで

7. 費用の上限

5,384千円(消費税額及び地方消費税の額を含む。)

8. 業務に必要な書類等

- (1) 業務着手時に、業務計画書を提出し、発注者の承認を得ること。
- (2) 業務完了時に、業務完了届に成果品を添えて、発注者の承認を得ること。

9. 業務履行の確認及び支払い

前項に掲げる書類について担当職員の検査を受けた後、受託者からの請求に基づき支払う。

10. 成果品の帰属

成果品の著作権は、発注者に帰属する。